

〔泌尿器科〕

研修の特徴と内容

【特徴】

当科では、泌尿器科疾患の教科書的な知識だけではなく、臨床に直結する知識および技術を修得することを目的として研修を行っている。そのため、上級医の指導のもとに、外来、病棟、手術室などいずれの状況においても、研修医が医療の重要なスタッフとして積極的に臨床に参加できる体制をとっている。

【内容】

① 一般目標（G I O）

泌尿器および男性生殖器に発生する先天性・後天性の疾病、外傷などの基礎知識を修得し、病態に応じた診療計画を立案することができるようにする。実際の臨床において医療面接・検査・診断・治療を柔軟かつ確に施行できる技術を修得する。さらに、他科の内科系・外科系の医師および看護師をはじめとするメディカルスタッフと円滑にコミュニケーションをとることにより、泌尿器科疾患のみならず広い分野の疾病に対応する診療能力とチーム医療の重要性とその実際を修得する。

② 行動目標（S B O）

1. 医療制度の知識：診療を通じてわが国の医療制度を理解する（解釈）
2. 患者に対して誠意のある医療面接やインフォームドコンセントができる（態度）
3. 泌尿器科スタッフ、他の医療スタッフと良好なコミュニケーションをとることができる（態度）
4. 泌尿生殖器の先天性疾患、腫瘍、炎症、機能障害、結石など各疾患の診断に必要な検査を述べることができ、オーダーすることができる（知識）
5. 検査（血液尿検査、画像診断、病理検査、ウロダイナミックスタディ、など）の結果を正しく判断し、的確に疾患や状態を診断できる（知識）
6. 泌尿器科の一般的な処置・検査（膀胱尿道鏡、逆行性尿路造影、カテーテル造影、ウロダイナミックスタディ、など）ができる（技能）
7. 泌尿器科の救急処置・検査（腎瘻造設、膀胱瘻造設、縫合止血、など）ができる（技能）
8. 泌尿器科の基本的な手術・検査（経尿道的手術、尿路内視鏡的結石手術、前立腺生検、腎生検、など）ができる（技能）
9. 泌尿器科の高度な手術（腹腔鏡下手術、ロボット支援手術、尿路変向術、腎移植術など）の実際を理解しチームの一員として診療にあたる事ができる（解釈・技能）
10. 最新の英文学術雑誌の抄読会に参加し、内容が理解できる（解釈）

③ 研修内容（方略）（L S）

L S 1 : On the job training（O J T）

1. 外来、病棟において患者を指導医とともに受け持ち、インフォームドコンセント、検査オーダーの仕方、検査結果の解釈を学ぶ。
2. 1年次においては外来、病棟、手術室における検査・処置・手術の介助、2年次におい

ては基礎的な検査・処置・手術の術者を経験する。

3. 症例カンファレンス、病理カンファレンス、回診に参加する。

L S 2 : 勉強会・カンファレンス

1. 症例カンファレンス

手術・重症症例の症例提示と診断および治療法の検討を行い、全手術症例の術後検討も行う。

2. 病理カンファレンス

手術・生検症例の病歴提示と病理標本により診断および治療法の検討を行う。

3. 放射線科合同カンファレンス

放射線科医と合同で画像診断および放射線治療・放射線学的インターベンション治療について重点的に議論し、治療指針とする。

4. 腎移植カンファレンス

腎移植術前の症例検討会でドナー・レシピエントの評価と治療法の検討を行う。

5. 抄読会

①スタッフによる英文学術論文の提示、研究成果報告の検討に参加する。

②手術ビデオの勉強会。

③各種疾患の診療ガイドラインの勉強会。

④ 教育に関する行事

<週間スケジュール>

1. 症例カンファレンス

月・水・金曜日 7時30分～

2. 病理カンファレンス

月曜日 17時30分～

3. 放射線科合同カンファレンス

水曜日 8時0分～

4. 教授回診

水曜日 8時30分～

5. 手術日

月曜日、水曜日、金曜日

6. X線検査

火曜日 9時～（終日）

7. 前立腺生検、移植腎生検

月曜日、木曜日、金曜日（午後）、土曜日（午前）

8. 抄読会

火曜日 18時30分～

9. 腎移植カンファレンス

移植前症例カンファレンス：月2～3回 木曜日 17時

⑤ 研修評価(EV)

1. 自己評価

E P O C を入力する。

2. 指導医による評価

E P O C への入力状況、診療チームでの勤務状況の評価を行う

指導医等

主任教授：山本 新吾

講師：鈴木 透

助 教：橋本 貴彦

教 授：野島 道生

講 師：呉 秀賢

助 教：山田 祐介

准教授：兼松 明弘

助 教：中西 裕佳子

研修実施責任者

教 授：野島 道生